

高校生

地球惑星科学

日本地球惑星科学連合

高校生のための 冬休み講座 2024

地球、 極限の冒険

日本地球惑星科学連合では、最先端の科学者たちによる講演会を行います。地球や宇宙を探求する魅力を、是非味わってください。講演後には、講師を含む科学者たちと交流会もあります。ざっくばらんな疑問や進路に関する相談など、なんでもぶつけてください。皆さんのご参加をお待ちしています。

13:00～14:00 後藤先生講演
14:00～15:00 大藪先生・川村先生講演
15:30～16:30 交流会

講演 1 / 南太平洋の伝説の大津波と消えた島々：文理の境界のない研究から見えてくること

南太平洋の島々には、巨大津波や島の消失など、かつて起きた大規模災害を想起させる神話や言い伝えが多く残されています。講演では、南太平洋での先史・歴史時代の巨大災害を地質学的に解明する取り組みについて紹介するとともに、今を生きる人々の命を守るために何ができるのかを議論します。



東京大学大学院理学系研究科 教授
後藤 和久

東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻修了。
東北大学助教や准教授などを経て現職。博士(理学)

講演 2 / 極域のアイスコアで探る地球環境変動 ～100万年を目指す新たな掘削へ～

南極やグリーンランドの氷を掘り出した「アイスコア」には、過去の大気組成や気温など、様々な地球環境の情報が詰まっています。講演では、アイスコアの研究成果を中心に、過去に起こった気候の大変動について紹介するとともに、今まさに100年以上を目指して新たなアイスコア掘削に挑んでいる南極の現場から映像をお届けします。



国立極地研究所
大藪 幾美

北海道大学大学院環境科学院地球圏科学専攻修了。
北海道大学低温科学研究所学術研究員や国立極地研究所特任研究員などを経て現職。博士(環境科学)



国立極地研究所
川村 賢二

東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻修了。ベルン大学研究員、スクリッパス海洋研究所研究員、東北大学助手、国立極地研究所助教と准教授を経て現職。博士(理学)

南極との
生中継!

2024
12.26
thu
13:00
Start
(開場 12:30)

参加方法：現地会場のみ ※講演内容は後日録画公開いたします

参加費：無料 対象：中学生・高校生 (現地引率希望はご相談ください)

会場：東京大学本郷キャンパス理学部1号館2階小柴ホール

詳細は日本地球惑星科学連合のHPをご覧ください。 <https://www.jpгу.org/public/20241226/>



【主催】公益社団法人日本地球惑星科学連合(JpGU) 〒113-0032東京都文京区弥生2-4-16学会センタービル4F
【後援】東京大学大学院理学系研究科・理学部 【お問い合わせ】 イベントURL内のコンタクトフォームからご連絡ください。